

原因再調査せず

園田 熊大結論支持を示唆

水俣病

参院選応援のため六日帰熊した園田厚相は、熊本市ホテル・キャッスルで記者会見、水俣病など公害問題、サリドマイド児対策などについてつぎのように語った。この中で園厚相はとくに水俣病について「原因については新潟水俣病と同時に結論を出す。厚生省が結論を出すことを宮沢経企庁長官も



記者会見する園田厚相

了承した。原因究明の再調査は行なわない。過去のデータで十分である」と暗に熊大の結論を全面的に支持することをほのめかし、またサリドマイド児については修学資金制度を設ける考えを明らかにした。

一、公害基本法の制定に伴い、公害の窓口は厚生省に一本化されたが、水俣病は過去のいきさつから経済企画庁が窓口になっている。しかし、それは単なる事務上の問題なので、さきに宮沢長官に会い、水俣病を厚生省が引き取ることで了承を得た。したがって結論は厚生省が出す。長い間ウヤムヤにされて結論を出すきっかけがなかったが、新潟水俣病と同時に出すことにした。結論を出す前に改めて調査はしない。過去のデータで十分だ。私の手元にはあり余るほど資料がそろっている。

一、結論を出したからといって患者者の生活救済を国や地方自治体で行なうわけではない。会社と被害者との間で話し合い、見舞い金の増額などをするほかないだろう。「原因が工場排水とわかっても新たな補償要求はしない」という一札が入っているので、水俣の場合問題がありそうだ。ただ、月々支払われる会社からの見舞い金が入るとみなされ、それだけ生活保護費から差し引かれるのは問題だ。見舞い金は苦しみの代償であって、生活保障費ではない。自動車事故の場合も同じだ。来年度予算から見舞い金を収入認定からはすすよう措置する。

一、結核を出したからといって患者者の生活救済を国や地方自治体で行なうわけではない。会社と被害者との間で話し合い、見舞い金の増額などをするほかないだろう。「原因が工場排水とわかっても新たな補償要求はしない」という一札が入っているので、水俣の場合問題がありそうだ。ただ、月々支払われる会社からの見舞い金が入るとみなされ、それだけ生活保護費から差し引かれるのは問題だ。見舞い金は苦しみの代償であって、生活保障費ではない。自動車事故の場合も同じだ。来年度予算から見舞い金を収入認定からはすすよう措置する。

一、荒尾地区の大気汚染が問題になっているが、十月から三月の間、指定地域にするための汚染調査を行なう。大牟田の指定地区の拡張という形を含める考えだ。

一、熊本でも問題になったサリドマイド児の入学は、来年度がピークだ。父兄とも相談した結果、かわいそうだからと社会から隔離するのは良くないと判断した。一般の学校になるべく入れてもらいたい。付き添いの関係や重症など

で行けない人には、特別養護学校をつくらうかと考慮したい。

一、今年度予算で養手の研究費を出したが、来年度就学用に関に合うよう開発を急ぎたい。来年度予算でサリドマイド児への養手満足、修学資金の支給を予算化した。養手満足は一般のものより高いが、不足分は親の負担にならぬよう厚生大臣の特別権限で出す。

一、天草の海中公園は今月末からでも厚生省独自の調査に着手する。別途法を作るより、自然公園法の改正にならう。必要であれば阿蘇山上一帯の土地を厚生省に移管してもらい、整備に万全を期す考えだ。